

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	障害者文化芸術講座			事業番号	011-168
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害支援 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③障害者の社会参加の促進		
			有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—	目標値	—
		寄与するKPI	有	取組	障害者児及びその家族に対する支援		
			有・無	指標名	—		
		有・無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	第4次堺市障害者長期計画、第5期堺市障害福祉計画、第1期堺市障害児福祉計画					
3	事業開始年度	平成 27 年度	点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 障害者による文化芸術活動の推進に関する法律					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市内在住の障害者 (身体・療育・精神手帳所持者 約55,000人)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	障害者に対し、文化芸術活動や集う場所を提供することで、社会参加の促進や当事者間の交流を図ることを目的とする。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	障害者が集い活動できる場の提供と、障害者を対象とした講座として、令和2年度は2講座を開催した。 ・ 手芸・編み物講座 (全15回、参加者8人) ・ フラワーアレンジメント講座 (全16回、参加者4人)
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	社会福祉法人 堺中央共生会
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 参加人数	人	目標値	27	27	18		18
		実績値	13	12			
		達成率	48%	44%			
当該指標を選定した理由		目標値を募集定員、実績値を参加人数とすることによって、講座の稼働率を測ることができるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		講座の募集定員数を目標値とする。					
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
12 講座開催回数	回数		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		目標値	40	40	36		
		実績値	36	31			
		達成率	90%	78%			
当該指標を選定した理由		開催回数が、実際に提供している事業の活動量を示すため。					
目標値の設定根拠・算出方法		当初開催予定の講座の実施回数を目標値とする。					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	障害者文化芸術講座	事業番号	011-168
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト		(単位：千円)				
項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	決算	決算	予算	決算	予算	
13 事業費 (a)	1,243	1,200	1,391	1,136	1,362	
財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	1,243	1,200	1,391	1,136	1,362	
14 人件費 (b)	820	810	820	820	820	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	2,063	2,010	2,211	1,956	2,182	

事業費の内訳		(単位：千円)							
項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源		
								R2	決算
16 事業費内訳	保険料	R2	64	64		R2	決算		
		R3	79	79		R3	予算		
	障害者文化芸術講座事業委託料	R2	796	796		R2	決算		
		R3	923	923		R3	予算		
	光熱水費・施設管理に係る負担金	R2	276	276		R2	決算		
		R3	360	360		R3	予算		
		R2				R2	決算		
		R3				R3	予算		
		R2				R2	決算		
		R3				R3	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費		区分	単位	令和元年度	令和2年度
17	①	延べ参加人数	人	183	151
	②	上記①にかかる年間経費	千円	2,010	1,956
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	10,984	12,954
備考 (算出についての説明等)		参加者によって受講回数が異なっていることから、1回の受講に要する1人当たりの単価を算定するため、延べ参加人数とする。			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、緊急事態宣言中は講座を休止したこともあり、延べ参加人数は減少している。</p> <p>本事業は、参加者個々の障害特性に合わせた丁寧な指導ができるよう、また、参加者が互いに交流しやすいよう、少人数での講習としているため単位当たり経費は高くなっている。</p> <p>しかし、講座を通じて他の参加者にアドバイスを行うなど、主体的に行動できるようになった方もおり、障害者の社会参加の促進に繋がっていることを考慮すると、妥当であると考えます。</p>

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	<p>本事業は、障害者が集い活動できる場の提供と、障害者を対象とした講座を開催し、障害者が豊かな社会生活を送れる機会を創出しており、障害者の社会参加の促進に寄与している。</p>